

## シラバス情報

授業方法	講義・実験・実習		
系 列	サービスマネジメント		
科 目 名	経営学		
必修・選択	必修科目・選択科目		
対象学科	一級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	4年前期	木曜日	1・2時限
時 限 数	14時限（期末試験を除く）		
担当教員名	小山 繁		
実務経験	有・無		
	高等学校長として多くの企業経営者と直接関わり、企業経営の在り方を学んできた経験を活かし、経営学の基礎についての講義を行う。		
授業の目的	経営学の基礎を学ぶことにより、組織人として、企業活動の全体像を意識し考え行動できる人材を育成するための講義を行う。		
テキスト	①仕事のビギナーズブック（日刊自動車新聞社） ②課題プリント		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	経営学とは 経営とは 会社の本質としくみ	経済学との違い、経営目的、社会的責任、経営資源、会社形態、組織構成等	①P8-18 P110-113
第2回	企業と社会の関係 経営理念	子会社と関連会社、HD制、親子会社 業務提携、M&A、CSR、CSV、理念他	②課題プリント
第3回	経営戦略 分析手法	フレームワーク 3C分析 PEST分析 SWOT分析 クロスSWOT分析他	①P110-113
第4回	経営戦略 事業ドメイン	事業ドメイン、コアコンピタンス、 事業拡大、多角化、シナジー効果他	②課題プリント
第5回	経営戦略	コストリーダーシップ戦略、差別化戦略、集中戦略、バリューチェーン等	②課題プリント
第6回	生産管理	生産方式、生産効率等	②課題プリント
第7回	数値管理	固定費、変動費、売上、コスト、粗利益、粗利益率、損益分岐点、価格設定	②課題プリント
	期末試験	第1回～第7回までの授業内容に関する筆記試験	

到達目標	経営学の基礎知識（考え方や手法及び用語）を学び、組織人として、企業活動の全体像を意識し考え行動できる能力の下地を形成する。
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、期末試験を合算して行う。
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が50点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>期末試験の点数 80 % 平常点 20 %</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が70点以上である場合、以下により評価する。 70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>70点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで70点以上のとき履修を認定し、成績は70点=良とする。</p>
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、 又は、成績評価が70点未満の場合。